

川崎市長選をPR



ブレイブサンダースで若者に

川崎市選挙管理委員会 事業の一環として、ブレイブサンダースにすは、任期満了に伴うロケットボール男

川崎市は、手紙やメールで市政への意見や要望を出すことができ「市長への手紙」の2016年度の受理状況をまとめた。ヘイトスピーチ(憎悪表現)を巡る内容が多く、受理件数は前年度比24.8%増の2367件で過去10年間で最も多かった。

市長への手紙

可にしたが、5、6月の受理件数が急増した。内容別でみると、「公園」3003件が最も多く、ヘイトスピーチが51件増え、メールが131件減少した。2位の「人」は9.9%を占め、苦情は19.7%。平和(149件)でもヘイトスピーチの割合が目立った。

投票率アップを目指す。ポスターは、仕置人選手がボールの代わりに投票用紙をゴールに投げ入れるポスターをデザイン。二票の重み、一点の重みをキックオフの重み、投票が市の特長を決めることを有権者に訴え、市内の高校や大学など4100枚配布する。

このほか、ブレイブサンダースの試合が開催される10月20、21の両日、川崎市と若きアリーナ(中原区)で模擬投票イベントも実施する。

【太田圭介】

芸術分野の第一人者集結 既決

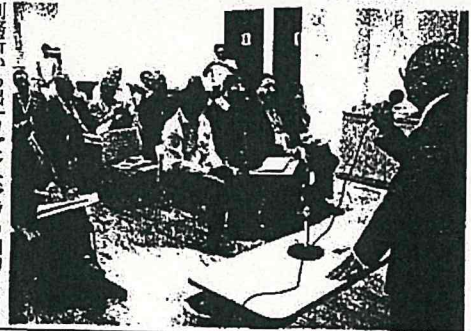
来月7日から川崎で講座

川崎・しんゆり芸術祭の実行委員会は、10月7日から来年3月17日まで全10回の「アート講座」を、川崎市麻生区の新百合21ホールで開催する。演劇や能、オペラ、映画、落語など幅広い分野で、トップアーティストや第一人者が演奏・演技や講演を行う。

講師は俳優の藤田三郎さん、映画評論家の佐藤忠男さん、歌人の馬場あき子さん、読売新聞東京本社の長井好弘編集委員ら。原則、土曜日の午前10時に開講。受講料5000円(全10回分)。定員150人。

詳しい内容や申し込み方法はホームページ(<http://arterica-support.com/>)を参照。締め切りは9月20日。問い合わせは市アートセンターのアート講座担当(044-952-5024)へ。

更生支援 熱心に質問 保護施設 海外から視察



刑務所から出たリビンを27カ国約370人が来日し、そのスタディツアーの一環として、日本刑務所や少年院など更生保護施設(川崎市川崎区区役所)に12日、海外から更生保護関係の学者や行政関係者ら24人が訪れ、視察した。写真は、同会の斎藤文夫理事長が「地域の住居の理解があり、街の中に入った施設を維持することができている。再犯しない、再犯させないよう努力している」とあいさつ。「一行は、今年全面改築されたばかりの真新しい施設内の居室や食堂などを見学し、「収容者の」就職の状況は「地域との関わりは」などと熱心に質問していた。地域の女性たちから、日本舞踊やお茶のお点前などの歓待も受けた。

一行は、都内で4日まで開かれていた世界保護観察会議の参加者。米國やフイ

海外から川崎自立会視察

世界保護観察会議の一環で



第3回世界保護観察会議の一環で、来日した各国・地域の司法関係者ら24人が12日、川崎市唯一の更生保護施設「川崎自立会」(川崎区)を視察した。一行は、今年4月に完成した鉄筋3階建ての新施設や、6月に開所した保護観察の活動拠点・市南部地区更生保護サポートセンターについて説明を受けた後、副都内で基調講演や発表、シンポジウムが行われる。

川崎自立会の調理室を視察する海外の司法関係者ら(12日、川崎市川崎区で)

東京新聞

◆親子で楽しむコンサート 17日 13時30分～14時30分(12時30分開場)、高津区溝口2、すくらむ21 階ホール(JR武蔵溝ノ口駅、東急線溝ノ口駅)。演奏曲は「やまのおんがくか」「おおきなりの木の下で」などを予定。無料。定員800人(当日先着順)。☎044(813)0808 =すくらむ21。 ◆大山街道がつなく宮前・高津歴

史ウォーキング 10月4、11日両日とも10時～。歴史ガイドの話聞きながら史跡を訪ねる。4日が東急線二子新地駅集合で高津区内を、11日が東急線堀が谷駅集合で宮前区内を歩く。無料。定員は、両日参加できる50人(抽選)。申し込みは19日(必着)で、代表者住所、電話番号、参加者名(2人まで)と生年月日を書き、往復はがきで、〒213 8570 高津区役所地域振興課=☎044(861)3134=か、〒216 8570 宮前区役所地域振興課=☎044(856)3125=へ。問い合わせは各課へ。